

筑波大学新聞

第377号

編集責任
筑波大学新聞
編集委員会

TEL・FAX 029(853)6699
E-mail
shinbun@un.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所
筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

注目記事

- 入学式 満開の桜と共に
- 国際コンペ 王尾さん最優秀
- 渡部 体操全日本選手権初優勝
- 自転車が視覚障害者の通行妨げ
- 宿舎祭 コロナ禍前の活気戻る

11 10 8 5 2

特集

- 発達障害学生支援 6・7
- 筑波大の現状を知る
- ミニ特集
- 魅力度ワースト!?! 3
- 茨城の絶景・穴場スポット

筑波お話し

地元広島の高校で新聞部にいった。広島カープのプレーを分析する地元紙のコラムが面白く、「自分も人を引きつける文章を書けるようになりたい」と思った▼ところが、入ってみれば、先輩たちは原爆や平和の問題を伝えることに熱心だった。年3回発行される新聞では、被爆者へのインタビューなどを特集する。自分も参加するうちに、勉強や部活に打ち込める日常が当たり前ではないことに気付かされた▼広島旧陸軍被服支廠は爆心地から345メートル。建物の倒壊は免れ、多くの被爆者が避難した。同支廠で勤務中に被爆した近藤アサさん(97)は「辺りは死体を焼く臭いが充満していた」と振り返る▼

生成系 AI を積極活用

筑波大基本方針 情報の真偽に注意し

筑波大は「チャットGPT」など生成系人工知能(AI)の利用に関する基本方針を5月11日付で公表した。生成系AIは学術的にも産業的にも大きな成果を上げることが期待されているとし、「新規技術の社会への定着に向けて積極的に活用すること」を打ち出した。ただし、情報の真偽が分からない、著作権侵害の係争がある、個人情報漏えいの恐れがあるなどの懸念点にも触れ、「使用者の責任を自覚して慎重に取り扱う」とした。

基本方針は加藤光保副学長(教育担当)と重田育照副学長(研究担当)が中心となって作成した。使用時の具体的な留意事項の要旨は以下の通り。

- ▽業務で知り得た未公表の情報や生成系AIに対する質問・指示を含めない。
- ▽教職員、学生が作成する論文や学修成果物などに生成系AIの文章や画像などを使用する場合は、適切に引用元を明示することができると限定する。
- ▽生成系AIから得られた情報には特定の意図を持った偽情報やバイアスが



本紙の取材に応じる重田副学長(左)と加藤副学長(5月23日、本部棟) = 川上真生撮影

加藤 大学は新たなものを生み出す人々が集まる場所であり、新しい技術を開発する。生成系AIを積極的に活用して、作業中に裏で動いている状況も想定されるため、当該ソフトウェアの環境設定に注意する。

重田 生成系AIの最新動向を把握し、適切に対応する。基本方針制定に際し、重視した観点などについて加藤副学長と重田副学長に聞いた。(聞き手・加藤緑)

――基本方針を作成する際に重視した点は?

加藤 大学は新たなものを生み出す人々が集まる場所であり、新しい技術を開発する。生成系AIを積極的に活用して、作業中に裏で動いている状況も想定されるため、当該ソフトウェアの環境設定に注意する。

――生成系AIを積極的に活用して、作業中に裏で動いている状況も想定されるため、当該ソフトウェアの環境設定に注意する。

重田 生成系AIを積極的に活用して、作業中に裏で動いている状況も想定されるため、当該ソフトウェアの環境設定に注意する。

――生成系AIを積極的に活用して、作業中に裏で動いている状況も想定されるため、当該ソフトウェアの環境設定に注意する。

大学構内で不審者出没

つくば署「直ちに110番を」

筑波キャンパスで今年4月、不審者による筑波大女子学生への盗撮行為と見られる盗撮行為が発生した。学生生活課は事案を教養情報システム(TWINS)の掲示板で周知するとともに、「不審者を学内で見かけたら最寄りの警備員室や学生生活課、エリア支援室に報告を」と呼び掛けている。

(高元愛香 心理学類3年)

同課によれば、盗撮行為の個室に入ったところ、誰かが続々とトイレに入っているのが見えた。しかし、個室に入る気配がなく、不審に感じた女子学生が様子を探ろうとしたところ、盗撮行為が確認された。女子学生は文化系サークル会館2階の女子トイレ

不審者による盗撮行為は4月22日午後3時半ごろ、追越学生宿舎で起きた。被害を受けた女子学生から同課への報告によれば、宿舎1階の居室で窓を開けて過ごしていたところ、身長約170センチ、20代とみられる短髪の男が窓の前に現れ、「トイレを借りたい」と声を掛けてきた。女子学生は男を無視し、男はその場から一旦離れた。その後、男は同宿舎に侵入して女子学生の居室前まで進みドアをノックした。男とは思わずに女子学生がドアを開けると、男は女子学生にアナルグッズを見せ、「一緒に遊ぼう」と言った。女子学生は友人宅に避難し、本部防災センターに通報した。

同宿舎の各棟玄関にはセキュリティシステムがあり、入棟時は暗証番号を入力する必要がある。男は宿舎の居住者が入り込んだ際に侵入したとみられる。リスク・安全管理課は同宿舎と文化系サークル会館周辺に警備員の巡回を増やした。学生生活課は同会館のトイレ周辺への防犯カメラ設置を検討するという。

つくば署の担当者は「不審者に遭遇したり、身の危険を感じたら、直ちに110番通報してほしい。県警本部から近くの警官に指示が行き、速やかに駆けつけられる」と話した。

筑波大学 開学50周年

桐の葉と共に

「質の高い品を良心的な価格で提供する」「ものを捨てないで活用する」。この二つが天久保サイクルショップ「古着屋MPH」(つくば市天久保)のモットーだ。1988年の創業以来、アルバイト従業員はほとんどが筑波大生。ショップカードや商品ポップの作成、店内レイアウトなど、学生のアイディアが生かされてきた。



商品に囲まれ、笑顔を見せる田中さん(左)と松本さん(5月5日、古着屋MPH店内) = 高元愛香撮影

卒業制作では、店のスペースを使ったという。「大学では出会えない個性豊かな大人と話すのが楽しかった」と言う。居心地の良さから卒業後もMPHで働き続け、2年前に店を継いだ。約70平方メートルの店舗内で

学生のおしゃれ心に応え

古着屋MPHは、学生のおしゃれ心に応え、最新のファッションアイテムを提供している。学生が安心して利用できる環境を整え、学生生活をサポートしている。

古着屋MPHは、学生のおしゃれ心に応え、最新のファッションアイテムを提供している。学生が安心して利用できる環境を整え、学生生活をサポートしている。

古着屋MPHは、学生のおしゃれ心に応え、最新のファッションアイテムを提供している。学生が安心して利用できる環境を整え、学生生活をサポートしている。

古着屋MPHは、学生のおしゃれ心に応え、最新のファッションアイテムを提供している。学生が安心して利用できる環境を整え、学生生活をサポートしている。

古着屋MPHは、学生のおしゃれ心に応え、最新のファッションアイテムを提供している。学生が安心して利用できる環境を整え、学生生活をサポートしている。

古着屋MPHは、学生のおしゃれ心に応え、最新のファッションアイテムを提供している。学生が安心して利用できる環境を整え、学生生活をサポートしている。

古着屋MPHは、学生のおしゃれ心に応え、最新のファッションアイテムを提供している。学生が安心して利用できる環境を整え、学生生活をサポートしている。

古着屋MPHは、学生のおしゃれ心に応え、最新のファッションアイテムを提供している。学生が安心して利用できる環境を整え、学生生活をサポートしている。

国際卓越研究大学に筑波大が応募 政府 秋ごろにも数校選定

世界最高水準の研究大学の実現を目指す政府の「国際卓越研究大学」の公募に、筑波大が応募した。公募は今年3月末で締め切り、筑波大をはじめ東京大や京都大など国立大8校と私立大2校の計10校が申請した。政府は秋ごろまでに数校を選び、来年度以降、1校当たり年間数百億円を支援する。

支援の財源は政府が創設した10兆円規模の大学ファンドの運用益。これまでの各大学の実績に加え、各大学が提出した研究力の強化計画などが審査される。

文科省の認定基準では、▽質の高い論文が直近5年間で1000本以上など、質の高い研究力有する

▽大学の収入全体(付属病院を除く)に占める外部資金の割合が直近5年間の平均で20%程度以上▽大学の運営に関する重要事項を決定する権限を持つ合議体を設けることなどが示されている。

支援期間は最長で25年だが、定期的に大学の取り組みを評価し、継続の可否を判断する。

文科省は政府の総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)や同省科学技術・学術審議会のメンバー、海外の大学の経験者など有識者10人をつくるアドバイザリーボードを設置し、4月から審査を始めた。書面審査に加え、面接や現地視察も行う。(菅元愛香)

「土浦ブランド」魅力発信 筑波大生がPR動画作成

日本一の生産量を誇るレンコンや約850頭しか飼育されていない希少な銘柄牛「飯村牛」など茨城県土浦市の特産品を紹介する動画「Come Closer もっと近くにある茨城」が4月5日、YouTubeで公開された。同市とロックバンド「THE BACK HORN」のボーカルで同市出身の山田将司さん、筑波大のクラブ企画で、芸術専門学群に在籍中だった中村音巴さん(芸専研究生)が制作を担当した。

同市は東京から約60キロの近郊都市ながら、筑波山麓から霞ヶ浦沿岸まで農地が広がり、多くの農林水産物が作られている。それらの知名度アップを図るため、同市は「土浦ブランド」を推進協議会「土浦ブランド」に認定する取り組みを進めている。公開された動画は、山田さんが霞ヶ浦を臨む筑波山麓に立つ場面から始まり、その後、山田さんはレンコン畑での収穫や常陸秋



レンコン畑を背に立つ山田さん(土浦ブランドPR動画より)

最後は、夕日が映える霞ヶ浦湖畔にたずむ山田さんの「だから俺はここに」という一言で締めくくられる。都心から日帰りできる土浦で、素晴らしい食の旅を楽しんでほしい、との思いが籠った言葉だ。

同協議会長の原忠信准教授(芸術系)が昨年6月、若い人の感性を生かした作品を作ってほしいと、メディア・アートなどが専門の村上史明助教(同)に依頼し、クラブ企画が始まった。中村さんは当時、芸術専門学群の4年生。村上助教の要請を受け、動画の制作に取り組んだ。

中村さんは「市の担当の方や山田さんの事務所と連絡を取りながら進めるのは大変だったが、従来のP

4809人 新たな一歩 入学式 満開の桜と共に

令和5年度入学式・大学院入学式が4月5日、大学会館講堂で行われた。学群生2255人、理療科教員R動画と一味違う、自分の表現したいことを落として、同世代の若者に土浦ブランドの魅力が伝わってほしい」と語った。

動画のURLは(https://www.youtube.com/watch?v=U9FHPkKp0) (久玉佳純比較文化学類3年)

養成施設14人、大学院生2540人が新たな一歩を踏み出した。午前2回は分かれて学群入学式が、午後は大大学院入学式が行われた。

昨年度までは出席者にマスク着用を求め、座席も間隔を空けて座っていたが、4年ぶりにこうした制限のない入学式となった。

学群生向けの式辞で永田恭介学長は「これからの4年間は、体系的な知識を習得し、その上でこれまでに解かれていなかった問題に挑戦する皆さんの日々となる」と語った。

おわびと訂正

376号2面のサッカー場改修の記事で、野嶋彩未選手(体専4年)の名前のルビが「彩未」とあるのは「彩未」の誤りでした。おわびと訂正します。

(菅元愛香、加藤緑)

新歓祭に新入生2000人 ピラ配り解禁 午後は雨で中止も

新入生歓迎祭(新歓祭)の本祭が4月8日に実施された。計約1300の学生団体が教室・屋外での展示や右の広場など特設ステージでのパフォーマンスを通じ、その魅力をアピールした。コロナ禍で昨年が中止されていた会場内を移動しながらのピラ渡しや声掛けが解禁され、新歓祭にコロナ禍前の活気が戻った。午後の部は開始直後の降雨で中止となったが、延べ約2000人の新入生が訪れた。

(衣笠有紀心理学類3年)



新入生を呼び止めてピラを配る弓道部員(4月8日、第一エリアで撮影)と、順番待ちの列ができた。特設ステージでは、ダンスやバンド演奏など約30団体のパフォーマンスに歓声が

拍手が送られていた。物理系サークルの展示を訪れた溝田光志さん(2年1年)は「入学前から関心があった。部員から話を直接聞いたので、更に興味が湧いた」と話した。

入場受付近くの1A棟や1C棟前では、多くの団体が行き交う新入生を呼び止め、ピラを配った。

来場者は受付でリストバンドを受け取ってから入場した。許可を受けていない団体の不正な勧誘や学外者の来場を防ぐため、学生団体のメンバーは黄色、警備担当の新歓委員はオレンジ、新入生は青と、色分けされた。



各ブースとも多くの新入生(4月8日、石にぎわった)に加え、緑色の広場で

TX延伸 土浦方面が「最善」 第三者委、提言書まとめる

つくばエクスプレス(TX)の茨城県内での延伸について検討してきた県の第三者委員会(委員長・岡本直久教授)は3月31日、JR常磐線土浦駅を延伸先とする「最善」案をまとめた。大井川和彦知事に提言した。県は延伸方面などについて県民の意見を

案を比較・検討し、採算性などの観点で土浦駅に「優位性がある」とした。

第三者委員会は「筑波山方面」「水戸方面」「茨城空港方面」「土浦方面」の四つの延伸案を二つに絞るため、昨年12月から議論を続けてきた。その際、東京圏からの人流創出や県内二大都市圏(水戸つくば)間の交流拡大など四つの判断基準と実現可能性を考慮した。

県によれば、JR土浦駅への延伸にかかる事業費は約1400億円。また、現状では年間約3億円の赤字が予想されるという。

政策企画部交通政策課の担当者は「採算性を確保できる計画を作成し、延伸の実現性を高めることで、県民の理解を得たい。実現すれば、鉄道を軸に、県全体の活力向上につながる」と話している。

(川上真生社会学類2年)

梅ちゃん先生の What is ダイバーシティ?

6月はLGBTQ+などの性的少数者の人たちがプライド(誇り/矜持)を持って生きることを祝う月です。世界各地で

虹の彼方への想い

レインボーの旗が翻り、イェントやパレードが行われます。性的少数者を象徴する「レインボーフラッグ」は虹をモチーフにデザインされています。旗の色にはそれぞれ意味があり、オリジナルは8色でしたが、一般的には6色の旗が使用されています。

「あれ? 虹って7色ではないの?」と思った人もいます。レインボーフラッグの色は「偶



レインボーフラッグの6色とその意味

数」であることにも意味があります。偶数(even)は英語で「平等」や「対等」を指し、奇数(odd)は「規定から外れている」や「余り物」を指すからです。

レインボーフラッグはミュージカル映画「オズの魔法使い」の中の「虹の彼方に」(原題: Over the Rainbow is where I want to be)という歌から着想を得たとされています。歌詞には「虹の向こうの空は青く、信じた夢は全て現実のものとなる」とあります。

レインボーフラッグには「差別のない平等な社会を虹の向こうに信じ、社会が変わるのを待つ」のではなく、自分たちで変えていこう」という力強いメッセージがあるのです。二つ折

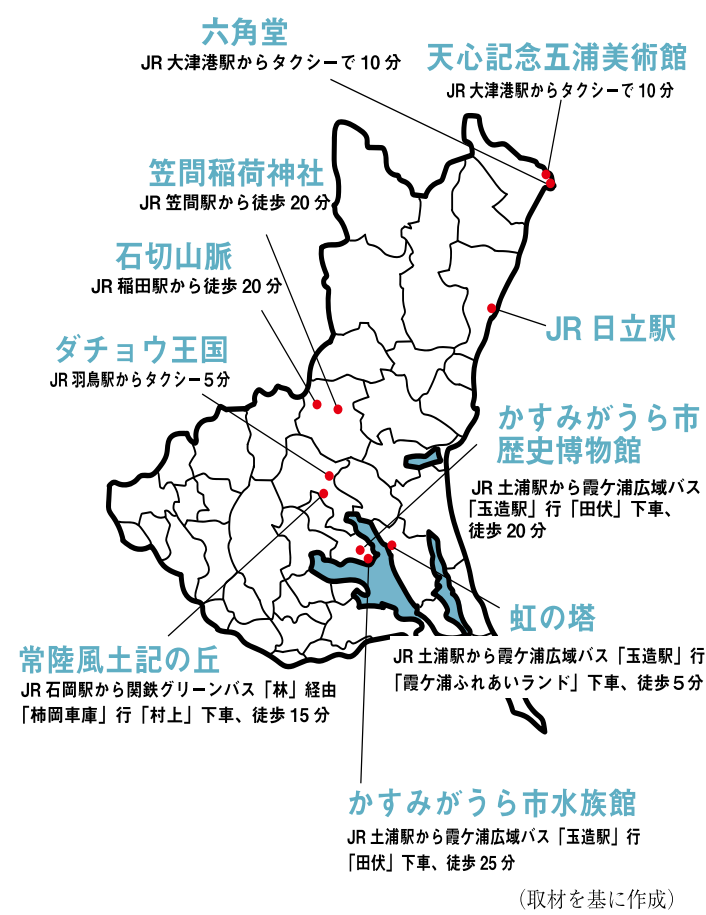
人々が尊重し合い、力を発揮できる環境づくりに欠かせない「ダイバーシティ」について、第一人者の梅田教授に、ひとこと聞いてもらいます。



梅田恵 教授
ヒューマンエンバワメント推進局(BHE)教授。2023年1月より現職。日本では珍しいダイバーシティの専門職として複数のグローバル企業で15年以上のキャリアがある。

魅力度ワースト・茨城! ? 絶景・穴場スポットを歩く

観光地へのアクセス



太平洋から顔を出す朝日(5月3日、JR 日立駅 展望イベントホールで) = 川上真生撮影

太平洋に「浮かぶ」駅

JR 日立駅

駅が海に飛び込むようにしている。思わずそんな勘違いをしそうなおぼろげな海に囲まれている感覚を味わえるのがJR日立駅(日立市)だ。JR土浦駅から各駅停車に乗って約1時間半。日立駅の改札を抜けてガラス張りの駅舎を進んだ先に、展望イベントホールは、眼下に太平洋が広がる。早朝には太平洋から朝日が昇る様子を一望できる。聞き、記者は5月2日午後10時39分土浦発の下り電車で乗り込んだ。日立駅に着いた後は最寄りの牛井店で時間をつぶし、同3日午前4時過ぎに展望イベント

ホールに向かう。早朝にもかかわらず、カップルや家族連れなど30人ほどが既にいた。次第に海の青さが増す。同4時42分、水平線から朝日が顔をのぞかせると、空が淡いピンク色から朱色に変化し、「すいすい」「きれい」などの歓声が上がった。地球が太陽の周りを回っていることを実感できる瞬間だった。神奈川県から友人と訪れた大学生の笹井夢さん(20)は「SNS(ネット交流サービス)でこの場所を知って訪れたが、想像した以上のスケールの大きさだった」と話してくれた。

「天心邸」が保存されている。また、太平洋を望む崖壁の上には「六角堂」がある。中国由来の簡素な造りの木造建築で、4畳半ほどの内部は日本の茶室に近い構造だ。屋根の宝珠や朱塗りの外壁は仏教由来だ。同研究所の片口直樹所長は「六角堂はアジア文化の素晴らしさを説いた天心の考え方を体現したものだ。足を運び、その思想に触れてほしい」と話す。

「ダチョウ王国石岡ファーム」は世界最大の鳥ダチョウを約200羽飼育し、日本最多を誇る。餌やりなどダチョウ



餌やりをする来園者(5月3日、ダチョウ王国石岡ファームで) = 加藤緑撮影

ダチョウ王国

ウとの触れ合いに加え、ダチョウ肉を使ったハンバーガーやカレーなどを楽しむことができるレアスポットだ。およそ7分の園内ではダチョウとは別にカピバラやアルパカ、ヒツジなど約

80種の動物が飼育されており、土日祝日にはヒツジの毛刈りショーなどが行われている。成鳥のダチョウは体高約250センチ、体重約120キロ。柵越しに餌の大粒を手のひらに乗せて差し出すと、くちばしを寄せて器用に受け取る。記者は手の皮を軽くかまれてしまい、ちょっと痛かったが、巨体に似合わぬ愛らしさを感じた。

ダチョウに触れ、味わう

「ダチョウ肉は低脂肪・低コレステロールで、たんぱく質と鉄分が多い。お勧めは肉の味がダイレクトに伝わる串焼きかバーベキューだ。アドバイスに従って串焼きを1本いたたいてみたところ、鶏に近い食感で、食べやすかった。バーベキューでは、鶏卵30個相当のダチョウの卵の目玉焼きが大人気だ。同市産業文化事業団の酒井芳次所長は「獅子頭は石岡のシンボル。周囲の芝生で遊ぶ子供たちの見守り役にもなっている」と語る。

石切山脈

等間市は全国でも有数の花崗岩(御影石)の産地だ。切り出される石は地名から「福田石」と呼ばれ、国会議事堂や最高裁判所の建材にも用いられている。東西約10キロ、南北約5キロ、

地下約1.5キロにまたがるその岩層は「石切山脈」と呼ばれる。御影石を切り出した後の山肌は垂直で、まるで石造りの古代遺跡のようにも見える。石切山脈のもう一つの見どころが、2014年に操業を止めた採石場跡地に湧き水や雨水が溜まった「地窓」だ。

野宮ゆかりさんは「晴れて風のない日は、白みがかって岩肌を水面が鏡のように映す。数週間雨が降らないと、水が澄んで更にきれい」と話す。現在も採掘が行われている奥山などを車で1時間かけて巡る「プレミアムツアー」では、石の採掘・加工現場を間近で見学できる。記者の取材中には、ワイヤーで石を切り分ける作業が行われていた。

隣接する屋外カフェも観光客に人気で、同市名産の栗を使ったモンブランが売られている。「栗のペーストをその場で絞っている。風味を損なわないよう、10分以内に味わってほしい」と同社取締役の堀和也さん。

富士山・スカイツリー一望

虹の塔

面積約220平方メートルの本湖沼では琵琶湖に次いで第2位の面積を誇る霞ヶ浦。そのほとりにおいて、天気の良い日は筑波山もちらん、富士山や東京スカイツリー、牛久大仏などが一望できる絶景スポットが「霞ヶ浦ふれあいランド・虹の塔」(行方市)だ。周囲には遮る建物がないため、高さ約60メートルの展望台からは360度のパノラマ

ビューが楽しめる。記者がゴールデンウィーク中に訪ねた時には、あいにくの雨で富士山などは見えなかったが、田植を控えた水田やハス田、コイを養殖するいけすなどが一望でき、これぞ霞ヶ浦という光景を満喫した。

同館の小林誠館長は「霞ヶ浦に生息する水生生物をまとめて紹介している施設は他にない。その生態系を多くの人に知ってほしい」と語る。

同館から西約500メートルの同市歴史博物館では、巨大な帆を張り、風の力を利用して漁網を引く帆引き船の3分の2スケールの模型(高さ約6メートル、幅約1メートル)を見学できる。霞ヶ浦では1960年代まで帆引き船を利用したワカサギやシラウオ漁が行われていた。

映える「地図にない湖」



湧き水や雨水が溜まってできた湖が鏡となって岩壁を映す(5月9日、石切山脈で) = 及川千翔撮影

「等間稲荷神社(同市)がある。創建は651年で、農業や商工業などあらゆる殖産興業の守護神とされる「子迎之御魂神」を祀る。本殿は、江戸時代末期に建てられた総ケヤキの権現造りで、国の重要文化財だ。現在は経年劣化などを理由に屋根を全面修繕中で、2025年3月に完了予定という。同神社事務室の大岐口泰伯さんは「5月の御田植祭や秋の菊まつりなど季節ごとにさまざまな魅力がある」と話した。

記者の声



天野隼太

春日の連絡通路

自転車が視覚障害者を圧迫 歩行者との共存目指したい

【10面に関連記事】筑波大に入学した3年前の4月、大学循環バス「平砂学生宿舎前」で下車し、春日4丁目の新居を目指した。「ゆりのき通り」側から「細い通路」を抜けると、筑波大下道を利用するよう「と」書いた看板があるのに気が付いた。これが「連絡通路」との初めての出会いだった。ゆりのき通りの側面にはS字状の柵があるのを見れば、足元を踏んだら、連絡通路の脇から何台か自転車が出てきた。よく見ると、視覚障害者が通るようになってきた。その日以来、「これは便利だ」。その日以降、数日後、オリエンテーションでその道を通過するようになった。

翌年11月、獣道は突如としてフェンスで閉じられた。「なぜ閉じられたのか」。学生の間に混乱が広がり、憤る声もあった。自分もその一人だった。施設部に封鎖の理由を取材した。「この連絡通路は、筑波技術大に通う視覚障害のある人のために設置した。自転車との接触を避けよう」という理由が聞かれた。同時に、それまで憤りを感じていた自分が恥ずかしくなり、横断地下道を利用するようになった。だが、自転車が連絡通路に入っていく姿をその後幾度となく見た。歩行者専用通路を通ってはいけない。そうやってし

た。自転車利用者には、視覚障害者に不安を与えているかもしれないことを認識してほしい。一方、施設部には、学生生活課などと連携して自転車利用者への周知を徹底するとともに、自転車・歩行者共存のための改善策を検討してほしい。「自転車が進むと危険」と善意で建てたフェンスだったが、獣道を利用して自走車が連絡通路を通過してしまう「想定外の事態」を招いた。歩行者にとっても、自転車利用者にとっても望ましくない状態だ。そもそも筑波キャンパスでは、朝晩などは自転車の通行が集中し、歩行者との接触も多くなって、ヒヤリとすることも多い。自転車と歩行者の共存を考える第一歩として、全学的に考える機会をすべきではないか。筑波大学新聞副編集長 比較文化学類4年

筑波時評

高齢運転者 運転中止の弊害にも配慮を データに基づく議論が必要

高齢運転者 運転中止の弊害にも配慮を データに基づく議論が必要

【20代前半と同程度、男性では20代前半に遠く及ばない。また、衝突相手の被害の大きさを事故件数当たりの死亡重傷者数で比較は、免許保有者数当たりの事

た。地球の目を向けると、交通事故から人間の命を守る、ばそれと良いとは言えない。私たちが地球温暖化と気候変動という別次元の脅威にもさらされており、二酸化炭素を多く排出する車の脱炭素化、ひいては脱クルマが喫緊の課題だ。運転をやめても生活できる地域では脱クルマを進め、人間にも環境にも優しい地域を増やしていく必要がある。話が少し脱線したが、高齢運転者対策は交通安全政策としてだけでなく、健康政策や環境政策の観点から総合的に立案・実施していくことが求められている。

【1類1年・男性】 昔ながらの街並みが好きなので、夏休み中に金沢に行きたい。日本とは違う生活様式が見られるので、抹茶アイスを食べたい。今はその計画を高校時代の友人と立てている。

【1類1年・女性】 安全だ。構外では安全のために着用している。自己責任なので、非着用者に罰を与えたりする必要はないのではないか。

【1類1年・女性】 自転車のヘルメットはかぶらないと、おしゃべりなデザインがヘルメットにあるなら着用してもいいかもしれない。

【1類1年・女性】 鹿兒島や宮崎など九州と北海道に行きたい。城巡りが好きだが、どちらも遠くまで行けない。大学卒業までは実現したいと思ってる。北海道では五稜郭や松前城を訪れた。

【1類1年・女性】 カナダで犬を体験などをしてみたい。また、現地の人と共に暮らす体験ツアーがあるようなので、参加したい。カナダと日本の食文化の違いにも関心がある。

市川政雄



教授 (公衆衛生学)

医学医療系・教授。タイ国立マヒドン大大学院、英国ウェールズ大(現・カーディフ大)大学院修了。博士(保健学)。東京大大学院医学系研究科助手などを経て、2010年より現職。

と引き換えに健康を損なうリスクが高まることはあまり知られていない。高齢者を長年追跡した疫学研究によると、運転をやめた人は続けた人と比べ、両者の健康状態などの違いを加味しても、要介護認定のリスクが倍増していた。移動手段を失った活動的な生活が送れなくなったことがその一因と考えられている。また、運転をやめると交通弱者として交通事故に遭うリスク

【1類1年・男性】 なんとなくオーストラリアに行きたい。日本とは違う生活様式が見られるので、抹茶アイスを食べたい。今はその計画を高校時代の友人と立てている。

【1類1年・女性】 安全だ。構外では安全のために着用している。自己責任なので、非着用者に罰を与えたりする必要はないのではないか。

【1類1年・女性】 自転車のヘルメットはかぶらないと、おしゃべりなデザインがヘルメットにあるなら着用してもいいかもしれない。

【1類1年・女性】 鹿兒島や宮崎など九州と北海道に行きたい。城巡りが好きだが、どちらも遠くまで行けない。大学卒業までは実現したいと思ってる。北海道では五稜郭や松前城を訪れた。

【1類1年・女性】 カナダで犬を体験などをしてみたい。また、現地の人と共に暮らす体験ツアーがあるようなので、参加したい。カナダと日本の食文化の違いにも関心がある。

【1類1年・女性】 カナダで犬を体験などをしてみたい。また、現地の人と共に暮らす体験ツアーがあるようなので、参加したい。カナダと日本の食文化の違いにも関心がある。

反射鏡

ヘルメットかぶりませんか

改正道路交通法の施行により、今年4月から自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務化された。罰則規定はないものの、警察などは「事故時の死亡リスクが大幅に下がる」と着用を呼び掛けている。キャンパスが広大で、自転車の利用が欠かせない筑波大生はヘルメット着用の努力義務化をどう考えているのか。中央図書館前で聞いた。(川上真生 社会学類2年 結城希 国際総合学類1年、衣笠有紀 心理学類3年、吉川柁 第2類1年)

【1類1年・男性】 大学構内では着用して通学や買い物で毎日自転車に乗っている。ヘルメットにヘルメットを持ち込むのは場所によって着用するの面倒だからだ。車やバイクが通らないため、比較

【1類1年・女性】 ヘルメットはかぶらないと、おしゃべりなデザインがヘルメットにあるなら着用してもいいかもしれない。

【1類1年・女性】 鹿兒島や宮崎など九州と北海道に行きたい。城巡りが好きだが、どちらも遠くまで行けない。大学卒業までは実現したいと思ってる。北海道では五稜郭や松前城を訪れた。

【1類1年・女性】 カナダで犬を体験などをしてみたい。また、現地の人と共に暮らす体験ツアーがあるようなので、参加したい。カナダと日本の食文化の違いにも関心がある。

夏休みどこへ行く

新型コロナウイルスの感染法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行され、国内・海外問わず旅行に行きやすくなった。夏休みの旅行計画に早くも心躍らせている筑波大生も多いことだろう。夏休みなどに行きたい旅行先について中央図書館前で聞いた。(シダス・ポーター 文学類2年、横山心咲 比較文化学類1年、結城希 国際総合学類1年、加藤緑 生物学類2年、修其志 人間総合学類1年)

【2類1年・女性】 夏休みに地元・大分に帰省する途中、福岡と長崎に寄り、福岡で大学生活を送っている友人に、安くおいしい博多ラーメンが食べられる店を紹介してもらい、一緒に食べたい。

【1類1年・女性】 自転車のヘルメットはかぶらないと、おしゃべりなデザインがヘルメットにあるなら着用してもいいかもしれない。

【1類1年・女性】 鹿兒島や宮崎など九州と北海道に行きたい。城巡りが好きだが、どちらも遠くまで行けない。大学卒業までは実現したいと思ってる。北海道では五稜郭や松前城を訪れた。

【1類1年・女性】 カナダで犬を体験などをしてみたい。また、現地の人と共に暮らす体験ツアーがあるようなので、参加したい。カナダと日本の食文化の違いにも関心がある。



イラスト=吉川柁(第2類1年)

王尾さん グランプリ

(芸専3年)

仕切りのないパレット提案

これから求められる製品
の提案を集め、優秀作の商
品化にも取り組む国際コン
ペティション「コクヨデザ
インアワード2023」の



グランプリを受賞した絵画用パレット「Sahara」
= 本人提供

ヨ(本社・大阪市)が主催し、今年で20回目。今回は「embrace」がテーマで、国内外から1035点の作品が集まった。

王尾さんがデザインした「Sahara」は、その名の通り、砂丘が連なる砂漠をイメージしたデザイン

従来のパレットは「色ごとに絵の具を分ける仕切り用の壁がある。一方、「Sahara」は、砂丘のようなくぼみがあるもの、明確な仕切りはない。「伸び伸びとした絵を描くためには、伸び伸びとした道具が必要なのではない」とい

つくばリサイタルシリーズ ピアノ三重奏で観客魅了

つくばリサイタルシリーズ実行委員会が主催する演奏会「琴トリオ3人」で奏でるシンフォニー」が5月21日、つくばカピオホール(つくば市竹園)で開かれた。琴トリオは2018年のミュンヘン国際音楽コンクールで優勝したピアノ三重奏団。約300人の観客がベートーヴェンなど3曲の熱演に聴き入った。

同シリーズは、筑波大有志学生でつくる実行委員会



5月21日、つくばカピオホールで演奏する琴トリオ(5月21日、つくばカピオホール) = TRS 実行委員会提供

が、つくばで気軽に一流のクラシックを楽しんでもらおうと13年から開催しており、今回は13回目だ。琴トリオは秋元孝介さん(ピアノ)、小川響子さん(ヴァイオリン)、伊東裕さん(チェロ)からなる。若手の登壇とされるミュンヘン国際音楽コンクールのピアノ三重奏部門で日本人団体が優勝したのは初の快挙だった。

ベートーヴェンのピアノ三重奏曲第3番、実行委員長の江藤光紀准教授(人文学部)の新作「風変わりなスケッチブック」に続き、トリオを飾ったのは今年で生誕150年を迎えたラフマニノフの「ピアノ三重奏曲第2番」短調。敬愛していたチャイコフスキーの死を悼んで作った曲だ。

静かなピアノの独奏と弦楽器の旋律が会話のように重なりながら激しさを増す第一楽章に始まり、慌ただしいメロディーが駆け巡る第二楽章に続く。第三楽章では、徐々に緩やかになっていく演奏が悲壮感をたたえ、曲をラストへと導く。公演後、秋元さんは「クラシックのコンサートは一般に観客の年齢層が高いが、多くの学生や外国の方々が来ていて、新鮮だった。集中して聴いてくれてうれしい」と語った。

来場した人文学類1年の女子学生は「普段はクラシックを聴かないが、学生席は無料という気軽さで参加した。音が目の前を駆け抜けている感じがした。機会があればまた来たい」と話した。(横山心咲)比較文化学類1年、山本貴世)国際総合学類1年、吉川栞)第2類1年)

う考えから提案された。王尾さんが小学生の頃の絵の具を使用する際にパレットを洗う機会を減らすため、指を入れる部分など本来絵の具を載せないところで使っていった経験から、「全面を使うパレットがあったら」と着想した。昨年10月に提出した一次審査用の資料では、CGで作成した「Sahara」の画像を使用した。CGのイメージを細かく変更し、2000通り以上を描き出した上で最終的に決めた。

今年3月の最終審査では審査員との質疑応答や模型審査が行われた。審査員からは、「使ってみると時々の乗しさを否定しようがない」「色はここから生まれるのかと考えさせられた」などと高い評価を受けた。王尾さんは「外部のコンペへの挑戦は初めてだった。グランプリ受賞は想定していません、こんなうれしいことになったと驚いた。一発屋にならないよう頑張っていきたい」と話した。(中谷美稀)人文学類2年)

演奏会は3部構成。第一部は芥川也寸志作曲の「弦楽のための三楽章」で幕を開けた。第二楽章では、弦楽器の本体を手でたたき、特殊奏法でゴツゴツとした音が奏でられ、独特の雰囲気加えられた。第二部では、シェイクスピアの戯曲を題材にチャイコフスキーが作曲した幻想序曲「ロメオとジュリエット」が披露された。



5月6日、筑波大学管弦楽団提供

役団員は67人で、OB・OGや団員を指導する講師らにも協力を求めた。コロナ禍の影響で2、3年生の入団が少なく、大団が少なく、編成を組むのが難しかったから、団長の山本薫さん(社工3年)は「人数の制約がある中で、比較的演奏されることが少ないが、自分たちが演奏したい曲を選んだ。生演奏で聴くのは初めてなどの声もあり、充実した演奏になった」と語った。(衣笠若紀)

管弦楽団定期演奏会
団員不足乗り越え

筑波大学管弦楽団の定期演奏会が5月6日に、パホール(つくば市吉妻)で開かれ、2時間わたる優美な演奏を約600人の聴衆が楽しんだ。

今年3月の最終審査では審査員との質疑応答や模型審査が行われた。審査員からは、「使ってみると時々の乗しさを否定しようがない」「色はここから生まれるのかと考えさせられた」などと高い評価を受けた。王尾さんは「外部のコンペへの挑戦は初めてだった。グランプリ受賞は想定していません、こんなうれしいことになったと驚いた。一発屋にならないよう頑張っていきたい」と話した。(中谷美稀)人文学類2年)

「さいぜ展」開催 専攻異なる4人が企画

所属領域がそれぞれ異なる芸術専門学群の3年生4人による「さいぜ展」が4月10〜14日にアートギャラリー「T+」で開かれた。キャンパスライフなどをテーマとした絵画や写真、彫塑など22品が展示された。

入学間もない2年前の4月、4人はまたまた出会う機会があった。イタリア料理を提供するファミリーレストランに一緒に出かけた。そこで意気投合したのが、「さいぜ」の由来だ。本展では「さいぜ」の意、出展者それぞれ

が持つ「午後4時」のイメージを作品化したテーマ展「PM4:00」と自由テーマ展では、情報・プロダクトデザイン領域の西山友葉さん(芸専3年)が空の写真を集め、カラーパレットと比較する作品を出展。芸術支援領域の唐澤依里さん(同)は、午後4時の営業終了前を混雑する筑波大学内郵便局の光景を、編み物の上にあふれんばかりのビーズを集めた作品で表現した。

自由展の「アテナイの学」は、西山さん、唐澤さん、ピジュアルデザイン領域の岩上ひかるさん(同)、総合造形領域の大島涼夏さん(同)の出展者4人と来場者との共同制作作品だ。ルネサンス期のイタリアの画家ラファエロの壁画「アテナイの学堂」をモチーフに4人が人物を描き、来場者にも油性ペンでその間に思い思いの人物を描き加えてもらうことで、一つの作品に仕上げた。

西山さんは「異なる専攻の4人の作品から、芸術の多様性を感じてほしい。初めての展示だったにもかかわらず、多くの方々に来ていただいたことに喜んでいます。(修其志)教育P前期1年、写真も)」

「姉妹」という関係性には独特なものがあると思う。ローズはほんのりとした青さ、まっしろいほどである。(島崎寛永)人文学類4年、写真も)



多彩な作品が展示された(4月12日、T+)

入場間もない2年前の4月、4人はまたまた出会う機会があった。イタリア料理を提供するファミリーレストランに一緒に出かけた。そこで意気投合したのが、「さいぜ」の由来だ。本展では「さいぜ」の意、出展者それぞれ



鈴木彩加 准教授 (社会学) 人文社会学系・准教授。大阪大学大学院人間科学研究科博士課程修了。博士(人間科学)。大阪大学人間科学研究科「AI研究員」などを経て2022年より現職。

「姉妹」という関係性には独特なものがあると思う。ローズはほんのりとした青さ、まっしろいほどである。(島崎寛永)人文学類4年、写真も)

「姉妹」という関係性には独特なものがあると思う。ローズはほんのりとした青さ、まっしろいほどである。(島崎寛永)人文学類4年、写真も)

私の一本

『イン・ハー・シューズ』 カートイス・ハンソン監督

分らないが、同じく長子女の友人に話してみると、「めっちゃ分かる」と言われることが多い。カートイス・ハンソン監督の『イン・ハー・シューズ』(2005年公開)は、長子女の苦悩が「まさにこれです」といった具合に描かれている。主人公は、ローズとマギーの姉妹。姉のローズは弁護士で、仕事を休むと不安になるタイプ。クローゼットにはおしゃべりなヒール靴をびっしり並べているが、自分の外見にコンプレックスがあるため、その長子女たちほどの程度共有されているのかは

れらを履くことはない。妹のマギーは対照的で、自分の外見に絶対的な自信を持っている。しかし、仕事が長続きせず、姉の靴を勝手に持ち出しては壊すなど、トラブルを起こしてばかり。物語は、高校の同窓会に参加して酔いつぶれたマギーをローズが迎えに行くところから始まる。ローズはマギーを真実にするために、父の再婚相手である義母から出ていくように言われてしまう。ローズは仕方なくマギーを自分の部屋に滞在させて面倒を見ることに。ある日、マギーが自分の恋人と寝ている場面に遭遇し、2人は決裂してしまう。しかし、それが転機となって2人は自分自身と向き合い、自分の道を見つけていく。

「姉妹」という関係性には独特なものがあると思う。ローズはほんのりとした青さ、まっしろいほどである。(島崎寛永)人文学類4年、写真も)

「姉妹」という関係性には独特なものがあると思う。ローズはほんのりとした青さ、まっしろいほどである。(島崎寛永)人文学類4年、写真も)

「姉妹」という関係性には独特なものがあると思う。ローズはほんのりとした青さ、まっしろいほどである。(島崎寛永)人文学類4年、写真も)

「姉妹」という関係性には独特なものがあると思う。ローズはほんのりとした青さ、まっしろいほどである。(島崎寛永)人文学類4年、写真も)

「姉妹」という関係性には独特なものがあると思う。ローズはほんのりとした青さ、まっしろいほどである。(島崎寛永)人文学類4年、写真も)

「姉妹」という関係性には独特なものがあると思う。ローズはほんのりとした青さ、まっしろいほどである。(島崎寛永)人文学類4年、写真も)

「姉妹」という関係性には独特なものがあると思う。ローズはほんのりとした青さ、まっしろいほどである。(島崎寛永)人文学類4年、写真も)

「姉妹」という関係性には独特なものがあると思う。ローズはほんのりとした青さ、まっしろいほどである。(島崎寛永)人文学類4年、写真も)

「姉妹」という関係性には独特なものがあると思う。ローズはほんのりとした青さ、まっしろいほどである。(島崎寛永)人文学類4年、写真も)

「姉妹」という関係性には独特なものがあると思う。ローズはほんのりとした青さ、まっしろいほどである。(島崎寛永)人文学類4年、写真も)

「姉妹」という関係性には独特なものがあると思う。ローズはほんのりとした青さ、まっしろいほどである。(島崎寛永)人文学類4年、写真も)



5月25日、つくば市要で

つくば市は芝の名産地である。一見ただの空き地が広場に見えるような場所が、実は芝畑であることがある。芝は3月から4月に植え付け、6月から10月にかけて刈るらしい。集落や畑の中に突然現れる芝の生き生きとした青さは、まさしいほどである。(島崎寛永)人文学類4年、写真も)

俳句 筑波大 「あを」
・油彩画のをとめ節目に夏の芝
・ソーダ水こぼれて光なほ重し
・くちづけの底まで夏空のあををさ

筑波大の発達障害学生支援を知る

発達障害は、生まれつきの脳の働きの違いによる障害だ。かつては「落ち着きがない」などの特性が障害と見なされず、その存在は見過ごされてきた。だが、近年は認知度が上がり、適切な支援を受けて活躍する発達障害者が増えている。筑波大では 2015 年から本格的に支援が始まり、昨年度は 114 人が大学に支援を申請した。その支援の現状や今後の課題を追い、学内外の研究者らを取材することも、発達障害者を公表している著名人にインタビューした。

(川上真生 社会学類、衣笠有紀、菅元愛香 心理学類)

発達障害は身近な存在

2005 年に施行された障害者差別解消法(障害者による差別の除去)により、発達障害者を「発達障害者支援法」(発達障害者支援法)で定義するようになった。発達障害者支援法では、発達障害者、学習障害、注意欠陥多動性障害(ADHD)を「発達障害者」として定義している。

主な発達障害の特性と強み・対処

種別	特性の例	強みや対処
自閉スペクトラム症 (ASD)	<ul style="list-style-type: none"> ▷予想外の出来事への対応が苦手など ▷興味・関心の偏り ▷感覚の過敏さや鈍さ 	<ul style="list-style-type: none"> ▷興味・関心の偏りやこだわりがあり、その分野で身につけた知識や技術が役立つ ▷順番ややり方にこだわりがある場合、決まった作業を正確にこなせることが他者に重宝される
注意欠陥・多動性障害 (ADHD)	<ul style="list-style-type: none"> ▷物忘れが多いなどの不注意 ▷じっとしていられないなどの多動性 ▷突発的に行動する衝動性 	<ul style="list-style-type: none"> ▷多動性や衝動性があることで、行動力があり、思いついたことをすぐ実行できると評価される ▷興味のあることであれば、とことん集中して高いパフォーマンスを発揮できる(ただし、その後は睡眠不足や疲労への対処が必要)
限局性学習症 (SLD)	<ul style="list-style-type: none"> ▷文章のどこを読んでいるのかわからなくなるなど読みの困難 ▷板書を書き写すのに時間がかかるなど書きの困難 ▷基本的な数字や記号、図表が読み取れないなどの計算・推論の困難 	<ul style="list-style-type: none"> ▷文字を音声に変換し、耳で聞くことで、持ち前のパフォーマンスを発揮できる ▷PC などを利用した筆記以外の方法による文章作成はスムーズに取り組める

(佐々木准教授の資料などを基に作成)
*特性や強み・対処は一例で、実際には個人差がある

広汎性発達障害の代表的な例が「自閉スペクトラム症(ASD)」で、相手の意思や感情を理解することが苦手、興味や関心が特定のものに偏るなどの特性がある。注意欠陥・多動性障害(ADHD)は、忘れ物やケアレスミスが多く、じっと座っていられない、思い通りに行動しない、集中できなくなるなどの特徴がある。

「発達障害者支援法」では、発達障害者、学習障害、注意欠陥多動性障害(ADHD)を「発達障害者」として定義している。

困りごとに合わせて支援

「困りごとに合わせて支援」というのが、発達障害者支援法の目的だ。発達障害者の困りごとは、人によって異なる。そのため、それぞれの困りごとに合わせて支援を行う必要がある。

発達障害者支援法の目的は、発達障害者の困りごとを解消し、社会参加を促進することにある。発達障害者の困りごとは、人によって異なる。そのため、それぞれの困りごとに合わせて支援を行う必要がある。

利用できる

発達障害者支援法では、発達障害者の困りごとを解消し、社会参加を促進することにある。発達障害者の困りごとは、人によって異なる。そのため、それぞれの困りごとに合わせて支援を行う必要がある。

貸し出しも

BHEでは入れたものを一定期間取り出せなくする箱(タイムロックングコンテナ)など発達障害者学生向けにさまざまなツールの貸し出しを行っている。



書きながら録音できるペンと付属のノート = BHE 提供

BHEスタッフの悩みに対応



脇貴典助教

発達障害の傾向がある学生に対する主要な支援が「スタディスキル・コーチング」だ。公認心理師などの専門資格を持つスタッフが4人いて、個々の学生と面談し、悩みを聞いて対処方法を一緒に考える。例えば ADHD 傾向のある学生は、作業や課題にどれだけの時間がかかるのを見積もるのが苦手だ。その結果、予定を詰め込んでしまい、当初考えた通りのスケジュールをこなせなかったりする。そうした場合、専門スタッフは定期的に障害学生と面談し、無理なスケジュールを組んでいないかどうかを客観的に確認し、アドバイスをしよう。

また、事前に利用登録をした学生は、第二エリア 2A307 室のアクセシブルなスペース(ASL)を利用して授業や課題に取り組むことができる。ASD 学生の中には感覚過敏性がある場合も多い。ASL なら、部屋の色や明るさを調整し、気持ちは落ち着けることができる。

学生仲間が支えに

筑波大の発達障害者支援法では、発達障害者の困りごとを解消し、社会参加を促進することにある。発達障害者の困りごとは、人によって異なる。そのため、それぞれの困りごとに合わせて支援を行う必要がある。

発達障害者支援法の目的は、発達障害者の困りごとを解消し、社会参加を促進することにある。発達障害者の困りごとは、人によって異なる。そのため、それぞれの困りごとに合わせて支援を行う必要がある。

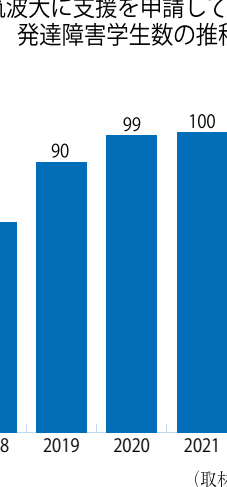
発達障害者支援法の目的は、発達障害者の困りごとを解消し、社会参加を促進することにある。発達障害者の困りごとは、人によって異なる。そのため、それぞれの困りごとに合わせて支援を行う必要がある。

発達障害者支援法の目的は、発達障害者の困りごとを解消し、社会参加を促進することにある。発達障害者の困りごとは、人によって異なる。そのため、それぞれの困りごとに合わせて支援を行う必要がある。

発達障害者支援法の目的は、発達障害者の困りごとを解消し、社会参加を促進することにある。発達障害者の困りごとは、人によって異なる。そのため、それぞれの困りごとに合わせて支援を行う必要がある。

発達障害学生は増加傾向

発達障害のある学生は全国的に増加している。日本学生支援機構の調査によると、2021年5月1日時点、全国の大学・短大・高専に在籍し、支援を求めている発達障害学生は 86,988 人。12年5月1日時点の 18,778 人から大幅に増加している。



発達障害のある学生は全国的に増加している。日本学生支援機構の調査によると、2021年5月1日時点、全国の大学・短大・高専に在籍し、支援を求めている発達障害学生は 86,988 人。12年5月1日時点の 18,778 人から大幅に増加している。

他大学にも支援提供

筑波大の発達障害者支援法では、発達障害者の困りごとを解消し、社会参加を促進することにある。発達障害者の困りごとは、人によって異なる。そのため、それぞれの困りごとに合わせて支援を行う必要がある。

BHEのアクセシビリティ支援チームに所属する臨床心理士でアクセサーの中田弘美さんは、学生に発達障害の可能性があるかどうかのアクセシメントを担当している。対象はBHEにアクセシメントの希望を申し出た学生で、結果はその後の支援に生かされる。初回の面談で学業や生活上の困りごとを聞き取る。その後、必要に応じて発達

発達障害のある学生は全国的に増加している。日本学生支援機構の調査によると、2021年5月1日時点、全国の大学・短大・高専に在籍し、支援を求めている発達障害学生は 86,988 人。12年5月1日時点の 18,778 人から大幅に増加している。

発達障害者支援法の目的は、発達障害者の困りごとを解消し、社会参加を促進することにある。発達障害者の困りごとは、人によって異なる。そのため、それぞれの困りごとに合わせて支援を行う必要がある。

発達障害者支援法の目的は、発達障害者の困りごとを解消し、社会参加を促進することにある。発達障害者の困りごとは、人によって異なる。そのため、それぞれの困りごとに合わせて支援を行う必要がある。

発達障害者支援法の目的は、発達障害者の困りごとを解消し、社会参加を促進することにある。発達障害者の困りごとは、人によって異なる。そのため、それぞれの困りごとに合わせて支援を行う必要がある。

発達障害者支援法の目的は、発達障害者の困りごとを解消し、社会参加を促進することにある。発達障害者の困りごとは、人によって異なる。そのため、それぞれの困りごとに合わせて支援を行う必要がある。

Hello! 先端研究



藤田諒助教 工藤崇准教授 高橋智教授

米国を中心に有人月面探査計画「アルテミス計画」が進められるなど、人類が月や火星を目指す新時代がやってきた。その際に克服しなければならぬ課題が、重力の低下による筋肉の質や量の

当事者の声

エッセイストの小島慶子さん(50)は41歳の時に軽度のADHD(注意欠如・多動症)と診断された。幼い頃から落ち着きがなく、思いつきで突飛な話をすることが多かった。計画を立てることも苦手で、大学の履修登録には苦しんだ。「見落としがあったらどうしよう」と新学期ごとにハラハラした。今も夢に見る「笑いながら振り返る。診断が下りた時は、「脳の特性も原因の一つだったのか。もっと早く知りたかった」と思ったという。それまでは「ダメ人間なん



写真: 鈴木愛子

小島慶子さん (エッセイスト・タレント)

だ」と自己嫌悪に陥ること、特性を知ったことで、「脳が多かった。だが、自分の特性上、期限を守ることができなかった。」「周囲に事情と対処法を伝えられるようになった。小島さんが学生の頃は、発達障害について知られておらず、「変人」「や」「だらしない」という言葉が片付けられていた。今では、発達障害という言葉は知られるようになったが、これからは発達障害を脳の多様性の一つと捉える「ニューロダイバーシティ」という考え方が重要になるとい

「特性」を語りやすい社会へ

「発達障害者の脳の特性」と語り、人それぞれ異なり、できごと、困っていることも異なる。無知や偏見によるネガティブな決めつけがなくなるとはいい、小島さん。自身の特性はかつて務めたアナウンサーの仕事に生きてもあるという。筑波大が発達障害学生を支援していることについては「障害を持つ学生の安心につながる。脳の多様性が可視化され、他の学生の理解も進む。支援制度を通じて、当事者が自身の特性をオープンに語りやすい社会になってほしい」と語った。

マイノリティー視点で研究

東京大先端科学技術研究センターの綾屋紗月特任准教授は30代半ばでASDと診断された。以来、発達障害の当事者としての経験を基にした研究に取り組んでいる。綾屋特任准教授には周囲の小さな音も耳に入り、会話が聞き取りにくいという特性がある。どうすれば、会話が聞き取りやすくなるかを白話で試すこともまた、当事者研究の一つだ。2015年には、ASD ケーシ



写真: 本人提供

綾屋紗月東京大特任准教授

話を聞きやすくなるかを白話で試すこともまた、当事者研究の一つだ。2015年には、ASD ケーシオンに適していることを目指している。綾屋特任准教授は「当事者が自分を変えようとする努力には限界がある。それを知った上で、当事者にとって望ましい社会や環境の在り方を模索し、生きやすい社会を実現することを目指している。社会的マイノリティーの視点をマジョリティー側に理解してもらい、効果的な支援につなげたい」と語る。

筋肉は重力低下で変化する

人類の宇宙進出の課題解決へ

日本実験棟だ。ここにはJAXAが開発した、微小重力から地上と同じ1Gまでの人工重力環境下でマウスを飼育できる可変人工重力研究システム(MARS)がある。研究チームの工藤崇准教授(同)らは、マウスを微小重力、月面重力(6分の1G)、1Gの3種類の重力環境下で1カ月

収縮スピードが早い速筋と、持久力に優れた遅筋の2つのタイプがある。微小重力下ではこのうち速筋の割合が増えた。月面重力下でも、微小重力下ほどではないが、速筋の割合が増えている。つまり、月面の重力があれば体を支える筋肉量の減少は抑えられるが、持久力が弱まるなど質の



野生型マウス 大Maf3重欠損マウス

IIa, IIx, IIbの3種類が分布 IIb線維が消失し、IIa, IIx線維のみになる

この結果、微小重力では地上(1G)に比べて筋肉の量が約10%減少したが、月面重力下では減少は起きなかった。筋肉には大きく分けて、具体的には、MAR

変化は抑えられないということだ。月面で人類が生活する際、筋肉変化の対処法を考える上で、重要なターゲットとなる。一方、研究チームの藤田諒助教(同)らは、筋肉を速筋タイプにする遺伝子を特定した。

今回の二つの結果を受け、研究代表の高橋智教授は「宇宙での生物学研究が、新しい発見に結びついた良い例で、これから宇宙生物学研究から多くの発見があることを期待したい」と話した。

手紙

私が約20年前、筑波大学新聞編集部員だった頃、この「卒業生からの手紙」を読むことが好きでした。そこには活躍する華々しい先輩方の姿が。しかし、本日は皆さんの反面教師となればと筆を執らせていただきます。

私は社会学類を卒業後、まずハウス食品(東京都中央区)に入社しました。筑波大学新聞は当時からとても優秀な人がそろっていて、私はできないことだらけ。記者の夢を持つつも挫折を感じて一般企業に入りました。

出版社であるCCCメディアハウス(本社・東京都品川区)の社員となり、官公庁などのオンドメディア制作の仕事に就いています。長い自己紹介になって恐縮です。そんな私が学生時代を振り返って思うことは、「隣の人と話せ

縁を大切に、挑戦を続けて

縁を大切に、挑戦を続けて

縁を大切に、挑戦を続けて

縁を大切に、挑戦を続けて

縁を大切に、挑戦を続けて

渡部 全日本選手権初優勝 深沢とともに世界選手権代表入り



NHK杯で世界選手権代表入りを果たした深沢(左)と渡部=体操競技部提供

全日本個人総合選手権が4月20〜23日に東京体育館(東京都渋谷区)で開かれた。筑波大からは女子7人、男子3人が出場し、女子は渡部葉月(体専1年)が初の総合優勝を果たし、深沢こころ(同4年)が3位に入った。また、5月20、21日に同体育館で開かれたNHK杯では深沢が3位、渡部が4位となり、2人はベルギーで9月に開幕する世界選手権の代表に決まった。同選手権は来夏のパリ五輪の予選を兼ねる。

渡部は大きなミスなく予選を2位で通過した。迎えた決勝では、同じ班の選手に1種目の跳馬と3種目の平均台で着地ミスがあり、2人が途中棄権するアクシデントがあった。

目の前で跳馬の着地ミスをみた渡部は「動揺したが自分の演技に集中し、できることをやろうと思った」と振り返る。その後の自身演技では、この春から新たに取入れたユルチェンコ1回半ひねりを着地まで綺麗にまどめ上げた。

渡部は「親しい選手の棄権というアクシデントはあったが、大きなミスなく4位となった。渡部は「大きなミスがあり、最後まで結果が分からなかった。」

NHK杯には4月の全日本選手権で上位に入った男子30人と女子22人が個人総合に出場した。男子はそのほか、各種目に計30人が出場した。全日本選手権の得点はなかった。またまたやるべきことはたくさんある。世界選手権では楽しみながら、自分の演技で世界を魅了したい」と語った。



医師から肘の超音波検査を受ける選手(4月29日、筑波大附属病院で) = 川上真生撮影

医師らから肘の超音波検査を受ける選手(4月29日、筑波大附属病院で) = 川上真生撮影

深沢は2種目の平行棒で、終始安定した演技を続けた。降り技のムーンサルトまでしっかりと決め、この種目でトップとなる13.566点を挙げた。

次の平均台で渡部は、ターンでややバランスを崩す場面があり、その後の連続ジャンプでも僅かにふらついたが、降り技でD難度の後方伸身宙返り2回半ひねりを決め、首位に躍り出た。

渡部は最終種目のゆかの演技の冒頭で、ターンがやや乱れたが、その後はほぼミスのない演技で終え、初優勝をつかみとった。

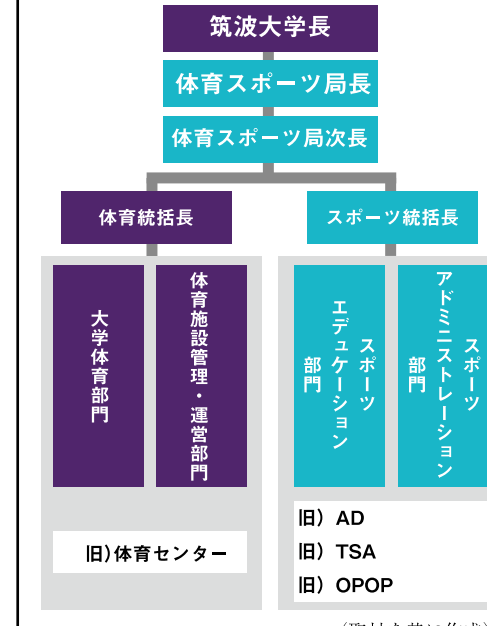
渡部は「親しい選手の棄権というアクシデントはあったが、大きなミスなく4位となった。渡部は「大きなミスがあり、最後まで結果が分からなかった。」

野球部の投手陣と新入生。野球部の投手陣と新入生に対するメディカルチェックが今年3月と4月の2度にわたって筑波大附属病院で実施された。

野球部のメディカルチェックは2020年からシーズン前後の年2回実施が苦しかった。世界選手権に向けて平均台の安定性を上げ、五輪出場権の獲得に貢献したい」と話した。

また深沢は「表彰台には乗れたが満足はいく演技ではなかった。またまたやるべきことはたくさんある。世界選手権では楽しみながら、自分の演技で世界を魅了したい」と語った。

体育スポーツ局の組織図



(取材を基に作成)

筑波大ではこれまで、学内施設の運営や維持管理を生向きの共通体育の力、教育推進部傘下の体育センターが担ってきた。下の「スポーツアシスタント」(TSA)と産学連携部傘下の「アスレチックパートナー」(AD)が、五輪・パラリンピック関連活動については総務部傘下の「オリンピック・パラリンピック総合推進室」(POP)がそれぞれ担当していた。

これに対し、体育スポーツ局では、▽大学体育部門▽体育施設管理・運営部門▽スポーツエデュケーション部門▽スポーツアドミニストレーション部門の4部門が設置された。

大学体育部門は体育センターが担ってきた共通体育の授業の力、学内施設管理・運営部門は学内体育スポーツ施設の運営や維持管理に加えて、体育施設の有効活用による収益化に取り組む。

また、スポーツアドミニストレーション部門はA

民間企業や自治体とも連携し、地域の活性化にも貢献したい」と抱負を語った。

約6時間後の決勝では、50秒の通過タイムが予選を0.08秒上回った。しかし、その後ペースを落とし、54秒69でゴール。自己ベスト更新はならなかった。

三浦は「100は予選、決勝とも54秒台で泳げ、3位になったことが嬉しい」と語った。

体育スポーツ局新設 人材や資源を有効活用 地域と連携も

筑波大は4月1日付で「体育スポーツ局」を新設した。大学の複数部局にまたがっていた体育スポーツに関する業務を一元化する全学組織で、「全ての学生がスポーツに親しむとともに、トップアスリートの育成・支援を推進するための環境を提供することを目指す。高木英樹教授(体育系)が局長に就任した。(喜ぶ憂喜)

また、運動部員の活動やキャリアの支援は学生部傘下の「スポーツアシスタント」(TSA)と産学連携部傘下の「アスレチックパートナー」(AD)が、五輪・パラリンピック関連活動については総務部傘下の「オリンピック・パラリンピック総合推進室」(POP)がそれぞれ担当していた。

これに対し、体育スポーツ局では、▽大学体育部門▽体育施設管理・運営部門▽スポーツエデュケーション部門▽スポーツアドミニストレーション部門の4部門が設置された。

大学体育部門は体育センターが担ってきた共通体育の授業の力、学内施設管理・運営部門は学内体育スポーツ施設の運営や維持管理に加えて、体育施設の有効活用による収益化に取り組む。

また、スポーツアドミニストレーション部門はA

民間企業や自治体とも連携し、地域の活性化にも貢献したい」と抱負を語った。

約6時間後の決勝では、50秒の通過タイムが予選を0.08秒上回った。しかし、その後ペースを落とし、54秒69でゴール。自己ベスト更新はならなかった。

三浦は「100は予選、決勝とも54秒台で泳げ、3位になったことが嬉しい」と語った。

三浦 背泳ぎ2種で3位 日本選手権 ユニバ代表にも選出

【東京アクアティクスセンター(東京都江東区)で川上真生II社会学類2年、衣笠有紀II心理学類3年)日本選手権が4月4〜9日に開かれた。筑波大勢は男子9人、女子8人が計26種目に出場し、三浦瑠央(体専4年)が男子50と100の背泳ぎ2種目で3位に入った。また、女子50背泳ぎで高橋奈々(同3年)が8位に入賞した。三浦は8月に中国・成都で開かれるワールドユニバーシティゲームズで、競泳の日本代表に選ばれた。



100背泳ぎ決勝で自己ベストに迫る三浦 = 川上真生撮影

高橋は9日午前の女子50背泳ぎ予選で自己ベスト(31秒63)に迫る31秒89をマークし、全体の8位で決勝に進出。同日午後の決勝では泳ぎに力みが出て、32秒40に終わった。

高橋はこれまで200背泳ぎで得意としており、50秒の決勝進出は初めて。「短距離で結果を残せたことは自信になった。ウエートトレーニングで瞬間的に力を出す体の使い方が身に付いた結果だと思える。決勝では、久しぶりの歓声に緊張してしまい、力を出し切れなかった」と語った。

日本人選手で最上位になりたい。緊張にのまれないようメンタル面を強化していきたい」と話した。

高橋は9日午前の女子50背泳ぎ予選で自己ベスト(31秒63)に迫る31秒89をマークし、全体の8位で決勝に進出。同日午後の決勝では泳ぎに力みが出て、32秒40に終わった。

高橋はこれまで200背泳ぎで得意としており、50秒の決勝進出は初めて。「短距離で結果を残せたことは自信になった。ウエートトレーニングで瞬間的に力を出す体の使い方が身に付いた結果だと思える。決勝では、久しぶりの歓声に緊張してしまい、力を出し切れなかった」と語った。

佐藤姉弟ペア FR 優勝 TR は2位 AS ワールドカップ 仏大会



金メダルを手に笑顔を見せる佐藤友花(左)・陽太郎
ペア=本人提供

アーティスティックスケーティング(AS)の2023年ワールドカップ第2戦が5月5〜7日、フランス南部のモンペリエで開催され、佐藤友花(体専4年・陽太郎(同1年)の姉弟ペアが混合デュエットのフリールーティン(FR)で優勝した。同テクニカルルーティン(TR)でも2位に入った。同ペアは7月に福岡市で開催される世界選手権に日本代表として出場予定で、活躍が期待される。
(新田早紀=生物資源学類3年)

273.5708点で金メダルに輝いた。姉弟ペアが2位となったTRは既定の要素を組み込んで演技をする。優勝した中国ペアは、演技構成の難易度で姉弟ペアを大きく上回っていたという。今大会を経て2人はジャンプやリフトなどのアクロバティックな動作が得意だと気づいた。公式練習で他国の選手たちのペアアクトを見た2人は「自分たちのほうが理想に近いと感じた」と語る。姉弟ペアは演技序盤、水中に沈んだ陽太郎が友花を足に乗せて蹴り上げ、その勢いで友花が高くジャンプするペアアクトを披露。演技の出来栄を審査員から高い評価を得た。足技が乱れて大幅に減点される場面もあったが、その後は安定して技を決め、

男子1600メートルリレー 13年ぶり制覇 総合女子2位、男子6位

【相模原キオスタジアム相模原市南区】で川上真生(社会学類2年、山本貴世(国際総合学類1年、吉川椋(同2年))関東学生競技対校選手権(関東インカレ)が5月11〜14日に開かれた。筑波大は男子1600メートルリレーで13年ぶりに優勝し、榎原沙紀(体専4年)が女子1500メートル2連覇を果たすなど男女計23種目で延べ36人が入賞した。総合順位は女子が昨年と同じ2位、男子は昨年の3位から6位に順位を下げた。

陸上

大会の最終種目となった男子1600メートルリレーは筑波大が逆転で制した。各校が応援歌を披露するなどスタンドが熱気に包まれる中、1走の山田那央(同1年)がスタート。2走の鶴澤飛羽(同3年)に5番手でバトンを渡した。鶴澤はインカレ直前の静岡国際男子2000メートルを20秒10(追い風巻き)で優勝し、好調を維持していた。最初

のコーナーを回った時点で7位に後退したが、後半のコーナーで一気に追い上げ3位に浮上した。3走の吉川椋(同4年)が順位を維持したままアンカーの今泉堅貴(同4年)にバトンをつなぐ。今泉は先頭との差を次第に詰め、ゴール手前で一気に2人を抜き去り、3分7秒30で優勝を決めた。400メートル専門の林申雅(同1年)や400メートル障害をうまくコントロールできず、故障することが多かった。転機は小学4年生で地元愛知県強化選手に選ばれたことだ。ロンドン、リオデジャネイロ両五輪代表で同県出身の寺本明

など演技全体を総合し、100点満点で評価していた。新方式では、フィギュアスケートのように個々の満点の縛りはなくなり、難しい技を正確にこなせばこそ、得点は上がるようになる。姉弟ペアが優勝した混合デュエットのFRは、自由な構成で演技する。姉弟ペアは演技序盤、水中に沈んだ陽太郎が友花を足に乗せて蹴り上げ、その勢いで友花が高くジャンプするペアアクトを披露。演技の出来栄を審査員から高い評価を得た。足技が乱れて大幅に減点される場面もあったが、その後は安定して技を決め、

水泳競技

ASの採点方式は今年から大きく変わった。従来は芸術性や難易度など演技全体を総合し、100点満点で評価していた。新方式では、フィギュアスケートのように個々の満点の縛りはなくなり、難しい技を正確にこなせばこそ、得点は上がるようになる。姉弟ペアが優勝した混合デュエットのFRは、自由な構成で演技する。姉弟ペアは演技序盤、水中に沈んだ陽太郎が友花を足に乗せて蹴り上げ、その勢いで友花が高くジャンプするペアアクトを披露。演技の出来栄を審査員から高い評価を得た。足技が乱れて大幅に減点される場面もあったが、その後は安定して技を決め、

6時間も練習した。中学3年時に全日本選手権に初出場し、決勝へ進出。9位となった。自分の力が分らないまま臨んだ大会だったが、全国で戦えることを実感できた」と言う。

残り1周でレースが動き、スタートをかけた保坂晴子(日本体育大)が道下を抜いて、榎原は保坂の後ろにつき冷静な走り方で力を温存し、残り100メートル地点で一気に加速。保坂を大きく引き離し4分21秒50でゴールした。

関東リーグ戦 女子全勝優勝 青木 最優秀選手賞

関東大学春季リーグ戦が4月29日から5月4日、ひらつかサン・ライフアリーナ(神奈川県平塚市)などで開かれ、筑波大女子が5戦全勝で優勝した。また、青木もえ(体専3年)が最優秀選手賞、須崎沙織(同1年)が新人賞を獲得した。全大会優勝という今年のチーム目標に向けて幸先の良いスタートを切った。(衣笠有紀)

3勝したチームが勝つことな。法政大戦では、須崎と矢島春菜(同4年)が出場した第1、第2シングルスで連続で落とし、後がなくなった。続く第1ダブルスには青木・広瀬未来(同2年)ペアが登場。相手はテンポが速く攻撃的なプレーを仕掛けてきた。しかし、粘り強

で先取。第2ゲームは競り合いとなったが、21-19で制した。第3シングルスは染谷菜々美(同4年)が登場。第1ゲームは相手の強烈的なスマッシュに押されて13-21で失った。だが、第2ゲームでは、コート奥に返球し、相手の体勢を崩す戦

「相模原キオスタジアム相模原市南区」で川上真生(社会学類2年、山本貴世(国際総合学類1年、吉川椋(同2年))関東学生競技対校選手権(関東インカレ)が5月11〜14日に開かれた。筑波大は男子1600メートルリレーで13年ぶりに優勝し、榎原沙紀(体専4年)が女子1500メートル2連覇を果たすなど男女計23種目で延べ36人が入賞した。総合順位は女子が昨年と同じ2位、男子は昨年の3位から6位に順位を下げた。

「パリ五輪では団体でメダル獲得、個人でも海外の選手とトップ争いをしたい」。快進撃は始まったばかりだ。(久玉佳純=比較文化学類3年、写真は体操競技部提供)



明治大戦で必死にシャトルを拾う染谷 (5月4日、ひらつかサン・ライフアリーナで) =川上真生撮影

3勝したチームが勝つことな。法政大戦では、須崎と矢島春菜(同4年)が出場した第1、第2シングルスで連続で落とし、後がなくなった。続く第1ダブルスには青木・広瀬未来(同2年)ペアが登場。相手はテンポが速く攻撃的なプレーを仕掛けてきた。しかし、粘り強

で先取。第2ゲームは競り合いとなったが、21-19で制した。第3シングルスは染谷菜々美(同4年)が登場。第1ゲームは相手の強烈的なスマッシュに押されて13-21で失った。だが、第2ゲームでは、コート奥に返球し、相手の体勢を崩す戦

「相模原キオスタジアム相模原市南区」で川上真生(社会学類2年、山本貴世(国際総合学類1年、吉川椋(同2年))関東学生競技対校選手権(関東インカレ)が5月11〜14日に開かれた。筑波大は男子1600メートルリレーで13年ぶりに優勝し、榎原沙紀(体専4年)が女子1500メートル2連覇を果たすなど男女計23種目で延べ36人が入賞した。総合順位は女子が昨年と同じ2位、男子は昨年の3位から6位に順位を下げた。

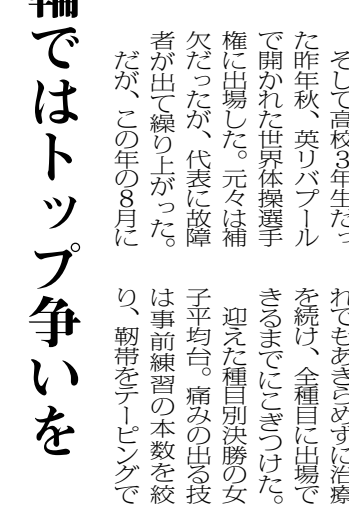
「パリ五輪では団体でメダル獲得、個人でも海外の選手とトップ争いをしたい」。快進撃は始まったばかりだ。(久玉佳純=比較文化学類3年、写真は体操競技部提供)

スポーツの顔

体操

前方に鋭い視線を送りながら助走に入り、幅10センチの平均台の上に跳び乗った。次々に技をこなす。最後の着地では、難度の後方伸身宙返り2回半ひねりをヒタリと決め

「パリ五輪では団体でメダル獲得、個人でも海外の選手とトップ争いをしたい」。快進撃は始まったばかりだ。(久玉佳純=比較文化学類3年、写真は体操競技部提供)



脚力生かしパリ五輪へ飛躍する 渡部 葉月 (体専1年)

パリ五輪ではトップ争いを

「パリ五輪では団体でメダル獲得、個人でも海外の選手とトップ争いをしたい」。快進撃は始まったばかりだ。(久玉佳純=比較文化学類3年、写真は体操競技部提供)

自転車が見覚障害者の通行妨げ

春日地区の歩行者専用通路 本紙改善策探る

筑波大学循環バスのバス停「平砂学生宿舎前」と筑波技術大春日キャンパス(つくば市春日)の間を結ぶ連絡通路をご存じだろうか。同キャンパスは視覚障害のある学生の学びの場で、教職員にも視覚障害者が多い。そうした人々がバス停を利用するために設置された歩行者専用通路だ。しかし、通路に自転車を無理やり押し入れて通行するケースが後を絶たない。本紙は連絡通路での交通量調査や技術大関係者へのアンケート、有識者への取材を通して、その改善策を探った。

(天野隼太Ⅱ比較文化学類4年、結城希Ⅱ国際総合学類1年、青野心平Ⅱ第2類1年、川上真生、嵩元愛香)



筑波技術大側の連絡通路出入口(6月1日、連絡通路で) = 天野隼太撮影



自転車侵入防止柵(6月1日) = 天野隼太撮影

侵入防止対策が あだに

連絡通路は1991年、筑波技術短大(現筑波技術大)開学に合わせて、同大の依頼を受けた筑波大施設部が設置した。全長約20メートル、幅約2.5メートル、地面には点字ブロックが敷かれている。また、バス停側の入り口にはS字に曲がった自転車侵入防止柵がある。

筑波技術大側の出入口口脇には、高さ1.5メートルのフェンスが設置されている。このフェンスは2022年9月、通路脇にできた獣道を自転車が通行しないよう、同部が設けたものだ。前年11月には既に高さ約1メートルの柵を設置していたが、自転車が柵の外側を通って獣道に侵入するようになったため、同部はその柵をバス停側の出入口に移設し、筑波技術大側により強固なフェンスを設置した。

併せて、通路の出入口2カ所に「筑波技術大の歩行者専用歩道です」と協力を呼び掛ける看板を設置し、注意喚起している。

同部の担当者は「通路と獣道との合流地点で、自転車と歩行者が接触する危険があった。その防止が目的だった」と説明する。

だが、自転車通行は強引に持ち上げて柵を乗り越えたり、侵入防止柵の間を無理やり通したりする通行者が相次いだからだ。自らも視覚障害がある松尾政輝・筑波技術大助教(福祉工学)は「フェンスが設置された頃から、連絡通路の利用時に、近くを通る自転車がなくなった感覚がある。今も変わらない」と話す。

波技術大側により強固な フェンスを設置した。

留学生の声

国際機関で政策立案に携わりたい

国際機関の比較研究に取り組んでいる。小学生の頃から地理や歴史に興味を持ち、国際機関への憧れを抱いていた。高校1年生だった2012年、母国カンボジアで開かれたASEAN+3(日中韓)首脳会議が開かれた際には、首都プノンペンに到着した各国首脳の車列を沿道で出迎えた。「国際関係の強化が世界の平和や持続的な発展を促進することを実感した」と振り返る。高校卒業後はカンボジアで国際関係を学びながら大で国際関係を学びながら

がら、王立プノンペン大日本語学科にも通った。「世界第3位の国内総生産(GDP)を誇る日本をよく知りたい」と考えた。英語は幼稚園、中国語は小学生から学んでおり、習得済みだった。大学時代には、カンボジア日本人材開発センター(CJIC)などが文化交流を目的に開く「日カンボジア絆フェスティバル」に毎年参加した。浴衣姿で盆踊りをしたり、たきややお好み焼きを味わったりし、アニメや漫画、家電などで

日本の存在を身近に感じているが、日本文化を更に好きになったという。大学卒業後は日本の留学を予定していた。コロナ禍の影響もあり、地元銀行で2年間勤務した後、昨年末に筑波大の研究員として来日。今年4月に国際公共政策学類プログラムに入学した。現在は、カンボジアに対する日本と中国の政府開発援助(ODA)の比較研究をしている。

リムさんは「日本の援助形態は現地住民に知識やノウハウを伝えることができる」と話す。今後は国際機関でのインターシップなどにも参加したいと考えており、「人脈を広げつつ、実践経験を重ね、国際機関への道につなげたい」と意気込む。(川上真生Ⅱ社会学類2年、写真も)

だが、自転車通行は強引に持ち上げて柵を乗り越えたり、侵入防止柵の間を無理やり通したりする通行者が相次いだからだ。自らも視覚障害がある松尾政輝・筑波技術大助教(福祉工学)は「フェンスが設置された頃から、連絡通路の利用時に、近くを通る自転車がなくなった感覚がある。今も変わらない」と話す。

本紙はアンケート結果なども踏まえ、都市計画や建築計画、福祉工学などが専門の有識者に取材し、連絡通路の改善策を探った。

◆歩行者・自転車共存◆
都市計画や建築計画が専門の菅野圭祐助教(芸術系)、藤川昌樹教授(シス情系)、大澤義明教授(同)の3人の有識者は「歩行者と自転車の共存ができていない」点を共通して指摘した。

菅野助教は「自転車が通行してしまっているのは、ニーズがあるという点で、規制をすることで解決する問題ではない」と話し、連絡通路の脇に自転車専用通路を設置することを提案し、別々に「道幅を広げる」「侵入防止柵を改良する」などの回答が多かった。

藤川教授は「自転車専用通路ができた後の歩行者専用通路に注目する」「看板や地面に張るステッカーなど、自転車利用者に歩行者専用と認知させることが大切だ。また、自転車利用者に入りたくないと思わせる物理的な工夫も必要ではないか」と指摘した。

大澤教授は「連絡通路は筑波大と筑波技術大、地域をつなぐゲートウェイとなっている。視覚障害者も含め誰もが安全に利用できる大学の入り口の一つとして整備すべきだと語った。

◆譲り合いが大切◆
筑波技術大の松尾助教は、同通路を「事故がいつ起こってもおかしくない状態」だと危惧しており、改善策として、通路を分離せず道を広げる方法を提案する。「視覚障害者は大きな環境変化に慣れるのに時間がかかる。道路幅だけなら環境変化も少なく、工事期間も短くなる」と話す。自転車侵入防止柵については、撤去すべきかどうか。S字形で歩行者の進行方向が目まぐるしく変わる

本紙は二つの調査結果や有識者への取材内容を筑波大施設部へ伝えた。同部の担当者は「フェンス設置後に自転車連絡通路を通ることは想定外だった。今回の調査結果などを参考に、筑波技術大と連携しながらより安全なキャンパス整備を目指したい。自転車を利用する学生への周知も、学生生活課と連携して進める」と話した。

歩行者専用 「知らない」

実際に、どれくらいの自転車が連絡通路を通っているのか。実態を把握するために、本紙は5月8〜12日に交通量調査を実施した。時間帯は午前8〜9時と午後4〜5時の各1時間。

その結果、朝の時間帯は平均約13台、夕方は同18台の自転車が通行していた。取材に応じた自転車通行者16人(うち13人は筑波大生だった)に利用目的を聞いたところ、筑波技術大側から筑波大側への通勤通学、コンビニやスーパーなどへの買い物が多かった。連絡通路が、筑波技術大関係者のために設置された歩行者専用通路であることについては、全員が「知らない」と回答した。

平砂(トンネル)と睡眠医科学研究棟脇を抜けて追越学生宿舎側に向かう二つだけ、連絡通路以外の道を通るのは遠回りでも不便な時間がない時は通ってしまふ。横断地下道(通称「うな」)の事も聞かれた。

本紙は、筑波技術大の視覚障害のある学生・教職員を対象に通路の利用状況をアンケートした。33人から「利用したことがある」との回答があり、うち29人(88%)に「通路で自転車と遭遇した経験があった。また9人(27%)が「自転車と遭遇して危険を感じたことがある」と答えた。具体的には「ひかれそうになった」「猛スピードで目の前に自転車が走ってきてヒヤヒヤした」などの経験が寄せられた。

アンケートでは、自転車侵入防止柵は歩行しやすいかどうかも聞いた。33人中24人(73%)が「通行しにくい」と回答し、その理由

として「柵にぶつからずに歩くことができない」「くねくねと曲がっていて歩きづらい感じが挙げられた。一方、「自転車との事故防止につながる」など、入

が侵入防止柵の設置を評価する意見を寄せた。また、自由記述で連絡通路を安全に通りたいという希望を述べた。

菅野助教は「自転車が通行してしまっているのは、ニーズがあるという点で、規制をすることで解決する問題ではない」と話し、連絡通路の脇に自転車専用通路を設置することを提案し、別々に「道幅を広げる」「侵入防止柵を改良する」などの回答が多かった。

松尾助教は「自転車は周囲に気を配り、白杖を持っている人を見つけたら減速する。視覚障害者は、点字ブロックに沿って歩くことに努めるなど、お互いの譲り合いが大切だ」と話す。

◆大学間で連携◆
本紙は二つの調査結果や有識者への取材内容を筑波大施設部へ伝えた。同部の担当者は「フェンス設置後に自転車連絡通路を通ることは想定外だった。今回の調査結果などを参考に、筑波技術大と連携しながらより安全なキャンパス整備を目指したい。自転車を利用する学生への周知も、学生生活課と連携して進める」と話した。

本紙は二つの調査結果や有識者への取材内容を筑波大施設部へ伝えた。同部の担当者は「フェンス設置後に自転車連絡通路を通ることは想定外だった。今回の調査結果などを参考に、筑波技術大と連携しながらより安全なキャンパス整備を目指したい。自転車を利用する学生への周知も、学生生活課と連携して進める」と話した。

本紙は二つの調査結果や有識者への取材内容を筑波大施設部へ伝えた。同部の担当者は「フェンス設置後に自転車連絡通路を通ることは想定外だった。今回の調査結果などを参考に、筑波技術大と連携しながらより安全なキャンパス整備を目指したい。自転車を利用する学生への周知も、学生生活課と連携して進める」と話した。

調査中に遭遇した事例



「柵にぶつからずに歩くことができない」「くねくねと曲がっていて歩きづらい感じが挙げられた。一方、「自転車との事故防止につながる」など、入

が侵入防止柵の設置を評価する意見を寄せた。また、自由記述で連絡通路を安全に通りたいという希望を述べた。

菅野助教は「自転車が通行してしまっているのは、ニーズがあるという点で、規制をすることで解決する問題ではない」と話し、連絡通路の脇に自転車専用通路を設置することを提案し、別々に「道幅を広げる」「侵入防止柵を改良する」などの回答が多かった。

松尾助教は「自転車は周囲に気を配り、白杖を持っている人を見つけたら減速する。視覚障害者は、点字ブロックに沿って歩くことに努めるなど、お互いの譲り合いが大切だ」と話す。

◆大学間で連携◆
本紙は二つの調査結果や有識者への取材内容を筑波大施設部へ伝えた。同部の担当者は「フェンス設置後に自転車連絡通路を通ることは想定外だった。今回の調査結果などを参考に、筑波技術大と連携しながらより安全なキャンパス整備を目指したい。自転車を利用する学生への周知も、学生生活課と連携して進める」と話した。

本紙は二つの調査結果や有識者への取材内容を筑波大施設部へ伝えた。同部の担当者は「フェンス設置後に自転車連絡通路を通ることは想定外だった。今回の調査結果などを参考に、筑波技術大と連携しながらより安全なキャンパス整備を目指したい。自転車を利用する学生への周知も、学生生活課と連携して進める」と話した。



侵入防止柵の間を無理やり通ろうとする自転車(5月8日) = 川上真生撮影 ※画像は一部加工しています

本紙は、筑波技術大の視覚障害のある学生・教職員を対象に通路の利用状況をアンケートした。33人から「利用したことがある」との回答があり、うち29人(88%)に「通路で自転車と遭遇した経験があった。また9人(27%)が「自転車と遭遇して危険を感じたことがある」と答えた。具体的には「ひかれそうになった」「猛スピードで目の前に自転車が走ってきてヒヤヒヤした」などの経験が寄せられた。

アンケートでは、自転車侵入防止柵は歩行しやすいかどうかも聞いた。33人中24人(73%)が「通行しにくい」と回答し、その理由

として「柵にぶつからずに歩くことができない」「くねくねと曲がっていて歩きづらい感じが挙げられた。一方、「自転車との事故防止につながる」など、入

が侵入防止柵の設置を評価する意見を寄せた。また、自由記述で連絡通路を安全に通りたいという希望を述べた。

菅野助教は「自転車が通行してしまっているのは、ニーズがあるという点で、規制をすることで解決する問題ではない」と話し、連絡通路の脇に自転車専用通路を設置することを提案し、別々に「道幅を広げる」「侵入防止柵を改良する」などの回答が多かった。

松尾助教は「自転車は周囲に気を配り、白杖を持っている人を見つけたら減速する。視覚障害者は、点字ブロックに沿って歩くことに努めるなど、お互いの譲り合いが大切だ」と話す。

◆大学間で連携◆
本紙は二つの調査結果や有識者への取材内容を筑波大施設部へ伝えた。同部の担当者は「フェンス設置後に自転車連絡通路を通ることは想定外だった。今回の調査結果などを参考に、筑波技術大と連携しながらより安全なキャンパス整備を目指したい。自転車を利用する学生への周知も、学生生活課と連携して進める」と話した。

本紙は二つの調査結果や有識者への取材内容を筑波大施設部へ伝えた。同部の担当者は「フェンス設置後に自転車連絡通路を通ることは想定外だった。今回の調査結果などを参考に、筑波技術大と連携しながらより安全なキャンパス整備を目指したい。自転車を利用する学生への周知も、学生生活課と連携して進める」と話した。

本紙は二つの調査結果や有識者への取材内容を筑波大施設部へ伝えた。同部の担当者は「フェンス設置後に自転車連絡通路を通ることは想定外だった。今回の調査結果などを参考に、筑波技術大と連携しながらより安全なキャンパス整備を目指したい。自転車を利用する学生への周知も、学生生活課と連携して進める」と話した。

宿舎祭 にぎわった2日間

4年ぶり 制限なしの開催

新入生を中心に行われる「第49回宿舎祭(やどかり祭)」が5月26、27日に平砂学生宿舎周辺で開かれた。今年のテーマは「拍手喝祭」で、人数制限がないコロナ禍前と同規模の開催は4年ぶり。2日間とも晴天に恵まれ、模擬店やステージ発表などでにぎわった。

食べ歩きも復活

平砂共用棟南側の「メインストリート」には課外活動団体や学類生らによる67

の模擬店が並んだ。昨年は新型コロナウイルス感染症対策のため禁止されていた飲食店の出店も許可され、会場には模擬店で買ったフライドポテトや揚げもちみじ饅頭などを食べ歩きする参加者の姿も見られた。

医学類1年生1クラスが出店した「めでいかるぶりゅれ」では焼き芋アプリュレが人気だった。切り分けた焼き芋の表面に砂糖をまぶしてバーナーで焦がし、バナナアイスに乗せた。1つ500円で、2日で約6500食を売り上げた。



優勝した知識情報・図書館学類の御輿の練り歩き(5月27日、平砂学生宿舎エリアで) = 川上真生撮影



宿舎祭を締めくくるとる花火(5月27日、平砂学生宿舎エリアで) = 加藤緑撮影

4年ぶりに御輿登場

27日午後4時過ぎからは「御輿パフォーマンス」が行われ、六つの学類が参加した。各団体は自作の御輿を担ぎ、メインストリートを練り歩いた。その後のパフォーマンスでは、御輿のテーマに合わせた劇やダンスを披露し、会場を盛り上げた。

結果、知識情報・図書館学類が優勝した。同学類の御輿は表紙に「フアン・ポッター」と書かれた本からつくばエクスプレス(TX)が飛び出してくるデザイン。パフォーマンスでは、TXの車内で、主人公の「フアン・ポッター」とその仲間たち5人が、筑波大学のキャンパスを巡る冒険劇を繰り広げた。

代表の上野響子さん(知識情報・図書館学類)は「御輿パフォーマンス」が書かれた本からつくばエクスプレス(TX)が飛び出してくるデザイン。パフォーマンスでは、TXの車内で、主人公の「フアン・ポッター」とその仲間たち5人が、筑波大学のキャンパスを巡る冒険劇を繰り広げた。

東京レインボープライド

筑波大も出展 学生が企画主導

性的少数者やその支援者が「性と生の多様性」を祝福する「東京レインボープライド2023」が4月22、23日に代々木公園(東京都渋谷区)で開かれた。入場規制のない開催は4年ぶり。筑波大は昨年に続き単独でブースを出展した。

(久玉佳純、衣笠有紀、菅元愛香、修其志)

NPO法人東京レインボープライドの主催で、今年で12回目。主催者発表で延べ約24万人が参加した。会場ではイベントの趣旨に賛同する企業や団体がブースを出展し、自らの活動などを紹介した。米岡や独、豪州などの駐日大使館も参加した。野外ステージではアーティストたちがライブ公演を披露した。

23日には会場周辺で約1万人が参加するパレードがあり、来場者が虹色のマスクを着け、性的少数者を象徴するレインボーフラッグを掲げて行進した。筑波大のブースは「IMAGINE OUR FUTURE」がテーマ。ヒューマンエンパワーメント推進局(BHE)の学生スタッフ4人が企画を主導した。最終的には教職員も加わり、計18人が運営に携わった。

ブース正面ではジェンダーとセクシャルティに關する学術書や小説、漫画映画など約50作品の内容を紹介した。学術書は、フェ



メッセージを書いた羽根を貼る来場者(4月22日、代々木公園で) = 久玉佳純撮影

ミニム理論の第一人者ジュディス・パトラ・ミカリアフォルニア大バークレー校教授の「ジェンダー・トラブル」など実物13点が展示された。BHEの保井啓志助教の蔵書で、「一般人にも読みやすく、ジェンダーなどの論点が分かるものを中心に選んだ」(保井助教)という。

この他の作品は、表紙やポストターの画像とともに概要を紹介した。来場者は、机に置かれた付箋に「心を打たれた一冊、お勧め」などと記入して展示物の周りに貼り、感想を共有した。

ブース内の通路の壁には、つくば市在住の性的少数者や支援者のポートレート写真26枚が展示された。写真の下には「大切な人」をつつがなくていい社会を、など、写真に映る本人のメッセージが添えられた。

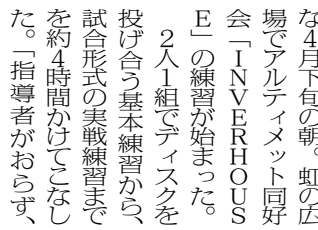
福岡県から来た大学生の岡部真之さん(21)は、ポートレート写真の「無知は時に罪だ」というメッセージに共感し、「目を背けない」と書いた。どんな人でも受け入れられる社会になってほしい」と話した。

アルティメット同好会

肌をなでる風が爽やかな4月下旬の朝。虹の広場でアルティメット同好会「INVERTHOUSES」の練習が始まった。

2人1組でディスクを投げ合う基本練習から試合形式の実戦練習までを約4時間かけてこなし、「指導者がおらず、上級生と相談してメニューを決める。実戦を意識し、自分たちに足りない力を基礎練習に力を入れて」と女子キャプテンの鈴木颯子さんが話す。

「(社工3年)は汗を拭きながら話した。」



相手のすきを突いてパスを出すメンバー(4月29日、虹の広場で)

同会のメンバーは学年1〜4年群1〜4年生まで総勢約40人。月土日の週3日、虹の広場やセキショウフィールドで練習する。

試合が成り立つ。競技で使うディスクは直径27センチ、重さ175グラムのプラスチック製だ。男子キャプテンの野櫻結聖さん(教育3年)は「ディスクは軽いので、風の向



英語で究極を意味するアルティメット(ultimate)は発祥の団体競技。敵味方7人ずつがサッカー場並みのフィールド(長さ100

ゾーン内でキャッチすれば1点。決められた得点を先取した方が勝ちだ。相手がディスクを落としたり、相手の投げたディスクを途中でキャッチしたりすれば、相手は失点する。

練習を重ねている。当面の目標は、9月に行われる全日本大学選手権の関東予選を突破し、10月の本戦に出場することだ。

「私たちが「国」はあなたたちを必要としている」と呼び掛けた。(タス・ポーター)文学類2年、川上真生、衣笠有紀、青野心平

「多くの一市民が犠牲に」講演では、ウクライナの文化や歴史などについて触れ、「ウクライナの景色は日本の自然風景と似ている」と紹介した。また、ロシアの侵攻後の街並みの変化や傷ついた市民の様子を写真で示した。



駐日ウクライナ大使が講演(4月24日、総合研究棟Aで)

「大使は「よく学んでください。私たち(国)はあなたたちを必要としている」と呼び掛けた。(タス・ポーター)文学類2年、川上真生、衣笠有紀、青野心平

に加え、筑波大近隣の商店や企業からの基金などで賄われている。今年は物価高の影響もあり、経営に苦しむ店舗が多く、昨年の約7割しか支援金が得られなかった。

「多くの一市民が犠牲に」講演では、ウクライナの文化や歴史などについて触れ、「ウクライナの景色は日本の自然風景と似ている」と紹介した。また、ロシアの侵攻後の街並みの変化や傷ついた市民の様子を写真で示した。

「大使は「よく学んでください。私たち(国)はあなたたちを必要としている」と呼び掛けた。(タス・ポーター)文学類2年、川上真生、衣笠有紀、青野心平

「大使は「よく学んでください。私たち(国)はあなたたちを必要としている」と呼び掛けた。(タス・ポーター)文学類2年、川上真生、衣笠有紀、青野心平

風読むプレーの爽快さ

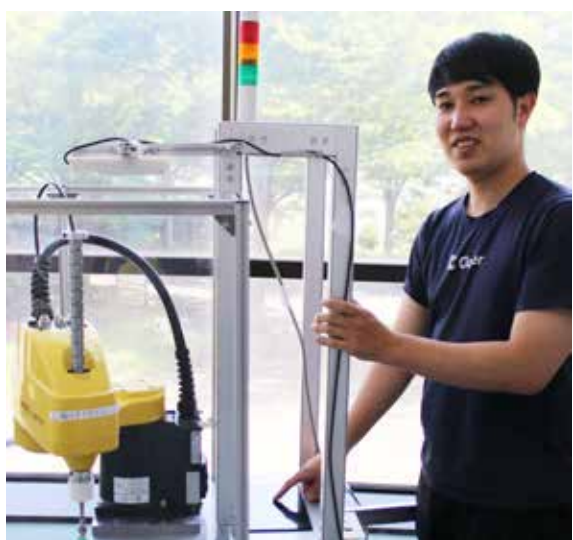
幅37センチ、フライディスクをパスしながら走る。両端のエンド

「(社工3年)は、ディスクは選手たちの思いを乗せ、風を切って今日も飛ばす。(青野心平)第2類1年、写真も)」

Who's Who?

「Closer」代表取締役

樋口翔太 さん (知能機能システム学位P後期2年)



ロボットを操作する樋口さん (5月10日、産学リエゾン共同研究棟で) = 衣笠有紀撮影

「単純で大変な作業を、ロボットで自動化することが当たり前の世界を実現したい」

そんな夢を抱き、大学院生でありながら、筑波大発ベンチャー「Closer」(つくば市天台)を7年前に起業した。同社代表取締役として、慢性的な人手不足が続く食品業界向けを中心に、作業効率を高め

「夢だった世界一になり、感無量だった。培った技術力や目標達成への粘り強さは、今の活動に役立っている」と振り返る。卒業後は長岡工業高専(同県長岡市)に進んだ。「専門的な知識を身に付けてロボットで世界一になりたい」と考えたからだ。5年時には、同高専と一緒に進んだ中学からの友人とチームを組み、世界大会で優勝。高専機構理事長特別表彰を受けた。

絶えぬものづくりへの探究心

「ロボットで単純な作業を自動化したい」

「食へ残しを生物の力で分解し、リサイクルする製品を開発している同期生に出会って刺激を受け、起業するの面白さを感じるようになった」と語る。筑波大学院では、人工知能研究室(鈴木健嗣教授)に在籍している。人工知能からロボット開発まで、幅広い研究をして

対応できるのが特色だ。現在は、カップ味噌汁の製造工場へ導入中だ。今まで自動化できなかった工程を自動化できる技術が評価されたという。新潟県上越市出身。小学5年で自律型ロボットのサッカー大会(ロボカップ)に興味を持ち、電子工作を始めた。翌年から大会出場を続け、ロボット製作とプログラミングの腕を磨いた。

その後は学士の学位が得られる専攻科で2年間学び、トマトを収穫するロボットの開発研究を行った。この間、農業ロボット関連の画像処理を学ぶために台湾への短期留学も経験した。また、ゴミ問題解決を目指すケニアのスタートアップ企業を国際協力機構(JICA)が支援するプロジェクトにも協力し、2020年に2度目の高専機構理事長特別表彰を受けた。

「誰も解決できなかったことを解決したい。食品業界が導入しやすい、低コストの技術を開発すれば、ビジネスとしても有望だ」と考え、起業化に踏み切った。現在のメンバーは15人。長岡高専時代の仲間や、事業の趣旨に賛同し、他業種から転職した社会人など多様な人材が集まった。「彼らは問題を一緒に解決してくれる仲間。ロボットを身近な存在にするという目標に共感してくれる筑波大生にも参加してもらいたい」と語る。

研究の目標は「誰でも簡単にロボットを使い、単純労働から解放される世界を作る」こと。その思いが樋口さんを動かす続ける。(青野心平 第2類1年)

編集後記

なりました。同じ授業を受

今号から編集部になつた仲間が10人加わり、編集室もにぎやかになりました。学群生に加え、大学院生や留学生もいます。新型コロナウイルスの感染防止上の位置づけが「5類」に移行し、コロナ禍前の日常に戻りつつあります。宿舎祭やどかり祭も4年ぶりに制限なしの開催となりました(11面)。初めて見た御膳パフォーマンスの出演者たちの笑顔がまぶしく、また1カ月足らずで賞の高い御輿を作り上げた新入生の団結力に感心しました。今年度から授業は対面が基本と

次号は
9月25日(月)
発行予定です

発行所 筑波大学
印刷 リーコム

編集・発行
■筑波大学新聞編集委員会
▽委員長 内海真生(生命環境系・教授) 水環境系(生態工学) ▽副委員長 中澤秋夫(学生部長) ▽委員 秋山肇(人文社会系助教) 憲法・平和研究、嵯峨寿(体育系・准教授) レジャー・スポーツ産業論、時井真紀(図書館情報メディア系講師) 情報表現・物性理論

新歓祭



馬術部員が連れたポニーを囲む新生ら (4月8日、第一エリアで) = 加藤緑撮影

2面へ

バドミントン 関東リーグ



明治大戦の第1ダブルスで勝利した青木(左)と広瀬 (5月4日、神奈川県平塚市で) = 川上真生撮影

9面へ

宿舎祭



初日の夜には「心を一つに」の願いを込めた火文字が照らされた (5月26日、平砂学生宿舎エリアで) = 結城希撮影

11面へ

東京レインボープライド



パレード参加者は虹色の旗を持って街を練り歩いた (4月23日、東京都渋谷区で) = 高元愛香撮影

11面へ

学内総合

スポーツ

学生生活

学生生活